



2016

復活第65回（通算85回）

H. I. 盃選手権試合

全三菱庭球大会

平成28年10月14日・15日・16日

三菱東京UFJ銀行	武蔵野コート
東京海上日動	多摩コート
日本郵船	飛田給コート

三菱庭球同好会

## 目 次

H. I. 盃選手権試合と全三菱庭球大会について	2
H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表	3
2015年度 第64回 優勝者	7
H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項	8
大会次第	10
諸注意事項	11
H. I. 盃選手権試合組合せ、女子シングルストーナメント組合せ	12
男子ダブルストーナメント組合せ	13
女子ダブルストーナメント組合せ	14
140才ダブルストーナメント組合せ	15
120才ダブルストーナメント組合せ	16
100周年記念東西対抗試合組合せ	17
コート時間割	18
大会会場・懇親会会場案内図	20
H. I. 盃 NAVI	22

### 開会式へ参加のお願い

第3日(10/16)出場予定の選手は、8:30から銀行コートで開会式を行いますので、必ずご参集ください。

### 懇親会会場変更のお知らせ

例年と会場が異なりますので、ご注意ください。

### 大会プログラム

大会当日は配布しませんので、ご持参ください。

## H. I. 盃選手権試合と全三菱庭球大会について

H. I. 盃選手権試合の歴史は、大正11年にまで遡ります。この年の10月、ロンドンにご外遊中の岩崎彦彌太様より三菱倶楽部庭球部に銀製カップが寄贈され、イニシャルを戴き、「H. I. ロンドンカップ」と名付けられました。翌大正12年、このH. I. 盃を争って第1回全三菱男子シングルス試合（H. I. 盃選手権試合）が開催されました。その後、毎年定例の行事として挙行され、今年で85回を数えるに至っています。

これに先立ち、関東関西戦が大正5年から開催されており、本大会は今年で100年目の節目を迎えるに至りました。

昭和27年の復活第1回H. I. 盃選手権試合／東西対抗試合（戦争の為昭和18年から中断）に際しては、新たに「100オトーナメント（45才以上ダブルス）」（以降105才、110才及び115才を経て現在では「120オトーナメント」）が加えられました。昭和47年に岩崎操子様よりカップが寄贈され、「女子ダブルス選手権試合」が設けられました。昭和58年に岩崎寛彌様よりカップが寄贈され65才以上のペアによる「130オトーナメント」（平成25年から「140オトーナメント」に変更）が設けられ、平成18年に三菱庭球同好会名で「男子ダブルス選手権試合」が設けられました。そして平成26年に岩崎美智子様より優勝盃が寄贈され、「女子シングルス」が設けられ、男女とも同じ種目の整備が完了しました。

これらのH. I. 盃選手権試合を中心とした各種目庭球試合の総称が、「全三菱庭球大会」であり、現在では、三菱企業グループ31社が参加し、各地区の予選も含め、全国的なレベルでますます盛んに繰り広げられています。



第1回 H. I. 盃（大正12年 東京・染井コート）

## H. I . 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表

### I. 復活前

回数	年 度	開催地	委員長	H. I. 盃	関東関西戦	
					回数	勝者
	1916 大正5	神 戸			1	雨天の為中止
	1917 大正6	東 京			2	記録なし
	1918 大正7	神 戸			3	米騒動の為中止
	1919 大正8	名古屋			4	記録なし
	1920 大正9	名古屋			5	記録なし
	1921 大正10	東 京			6	関東
	1922 大正11	名古屋		10月カップ創設 軟式から硬式へ	7	記録なし
1	1923 大正12	東 京	河手捨二 (商事取締役)	岩永侃爾 (門司・鉱業)	8	関西 7-5
2	1924 大正13	神 戸	山口泉吉 (重工神戸造船所長)	青木岩雄 (東京・銀行)	9	関東 9-6
3	1925 大正14	名古屋	松本辰三郎 (内燃名古屋製作所長)	扇山正男 (名古屋・内燃)	10	関東 9-4
4	1926 大正15	東 京	荘田達弥 (造船研究所長)	岩永侃爾 (東京・鉱業)	11	関東 12-3
5	1927 昭和2	神 戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	青木岩雄 (東京・銀行)	12	関東 10-5
6	1928 昭和3	東 京	三好重道 (製鉄取締役)	神田道朝 (関西・保険)	13	関東 8-7
7	1929 昭和4	神 戸	山室宗文 (銀行常務取締役)	青木岩雄 (関東・銀行)	14	関西 10-5
8	1930 昭和5	東 京	荘田達弥 (造船研究所長)	牧野 元 (関東・航空)	15	関東 8-6, 1分
9	1931 昭和6	神 戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	牧野 元 (関東・航空)	16	関西 12-2, 1分
10	1932 昭和7	東 京	三好重道 (製鉄取締役)	志村彦七 (中京・航空)	17	関西 8-7
11	1933 昭和8	神 戸	田中金之助 (倉庫取締役)	後藤 長 (中京・航空)	18	関西 12-3
12	1934 昭和9	名古屋	本間亀吉 (電機名古屋製作所長)	後藤 長 (中京・重工)	19	関東 11-4
13	1935 昭和10	東 京	佐藤梅太郎 (合資参与総務課長)	後藤 長 (中京・重工) 決勝は5→3セットマッチへ	20	関東 10-5
14	1936 昭和11	神 戸	玉井喬介 (重工社長)	石井小一郎 (関東・地所)	21	関西 8-6, 1分
15	1937 昭和12			支那事変のため中止	22	
16	1938 昭和13	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	志村彦七 (中京・重工)	23	関西 8-7
17	1939 昭和14	名古屋	後藤直太 (重工取締役)	志村彦七 (中京・重工)	24	雨天中止
18	1940 昭和15	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	中野文照 (関東・鋼材) <ダブルス>熊谷一彌・関沢房豊	25	関西 9-6
19	1941 昭和16			中止	26	中止
20	1942 昭和17	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	林 新緑 (関西・電機) <ダブルス>田村亮・扇山忠男	27	記録なし

II. 復活後

回数	年 度	開催地	委員長	H. I. 盃	140才トーナメント	120才トーナメント	女子ダブルス	東西対抗試合
1	1952 昭和27	東 京	石黒俊夫 (本社精算人)	藤倉五郎 (金商)	100才→	岩崎彦彌太・ 山岸成一		関東 10-3, 3分
2	1953 昭和28	神 戸	藤井深造 (新重工社長)	藤倉五郎 (金商)		住友・池上 (電機)		関東 13-6
3	1954 昭和29	名古屋	高杉普一 (電機社長)	藤倉五郎 (金商)		富田・河尻 (金属・金商)		関東 19-5
4	1955 昭和30	東 京	石黒俊夫 (地所社長)	藤倉五郎 (金商)		西 ・神田 (商事・海上)		関西 18-12
5	1956 昭和31	大 阪	古村誠一 (金属鋁業社長)	藤倉五郎 (金商)		西 ・服部 (商事・新重工)		関西 19-13, 1分
6	1957 昭和32	東 京	高垣勝次郎 (商事社長)	藤倉五郎 (金商)		藤島・森野 (銀行・海上)		関東 21-17
7	1958 昭和33	大 阪	伊藤保次郎 (鋁業社長)	寺岡健吾 (化成)	105才→	石井・高萩 (地所・鋁業)		関西 23-14
8	1959 昭和34	東 京	佐藤 尚 (造船社長)	石黒 修 (電機)		雨天中止		雨天中止
9	1960 昭和35	東 京	桜井俊記 (重工社長)	石黒 修 (電機)		鈴木・山岸 (金属・商事)		関西 21-17
10	1961 昭和36	東 京	柴田周吉 (化成社長)	石黒 修 (電機)		石井・武井 (地所)		関東 24-21
11	1962 昭和37	大 阪	浜川友十郎 (倉庫社長)	石黒 修 (電機)		樋口・古矢 (銀行)		関東 23-22
12	1963 昭和38	東 京	宇佐美 洵 (銀行頭取)	石黒 修 (電機)	110才→	中山・山岸 (金属・商事)		関東 26-19
13	1964 昭和39	東 京	藤岡信吾 (石油社長)	石黒 修 (電機)		大淵・塚田 (地所)		関東 29-18
14	1965 昭和40	東 京	千頭暎臣 (信託社長)	藤井道雄 (電機)		山岸・柴田 (商事・化成)		関東 27-23
15	1966 昭和41	大 阪	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		樋口・一法師 (銀行・商事)		関東 36-17
16	1967 昭和42	東 京	河野文彦 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		浅田・塚田 (銀行)		関東 41-18
17	1968 昭和43	東 京	野村義門 (重工顧問)	山岸 孝 (明生)		大藤・山岸(二) (セント・商事)		関東 36-22
18	1969 昭和44	東 京	有吉義彌 (郵船社長)	藤井道雄 (電機)		岩倉・山岸(二) (郵船・商事)		関東 39-28
19	1970 昭和45	東 京	牧田与一郎 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		堤 ・塚田 (銀行)		関東 33-24, 13分
20	1971 昭和46	東 京	田実 涉 (銀行会長)	大日方昭太 (海上)		岡本・三好 (金属)		関東 42-28
21	1972 昭和47	東 京	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		河尻・藤倉 (金商)	島野・青井 (海上・重工)	関東 43-31
22	1973 昭和48	東 京	中田乙一 (地所社長)	山岸 孝 (明生)		雨天中止	原・市井 (海上)	雨天中止
23	1974 昭和49	東 京	古賀繁一 (重工会長)	宮川善文 (大日)		雨天中止	小島・塚本 (電機)	雨天中止
24	1975 昭和50	東 京	古賀繁一 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)		田中・笥 (重工)	島野・塚本 (海上・電機)	関東 41-35, 1分
25	1976 昭和51	東 京	古賀繁一 (重工会長)	有沢三治 (油化)		雨天中止	島野・塚本 (海上・電機)	雨天中止
26	1977 昭和52	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		北岡・高橋 (電機)	針谷・中井 (重工)	関東 54-28
27	1978 昭和53	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)	115才→	関口・西尾 (重工)	三枝・堀毛 (電機)	関東 44-37, 1分
28	1979 昭和54	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		御供・林田 (重工・製鋼)	西浦・三枝 (電機)	関東 49-33
29	1980 昭和55	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		吉岡・佐久間 (キャタ・重工)	作山・植村 (化成)	関東 41-20, 21分

回数	年 度	委員長	H. I. 盃	140才トーナメント	120才トーナメント	女子ダブルス	男子ダブルス	東西対抗試合
30	1981 昭和56	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		樺原・古賀 (化成・樹脂)	作山・植村 (化成)		関東 49-33
31	1982 昭和57	田部文一郎 (商工会長)	武田 彰 (商事)	130才↓	中野・高橋 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 40-37, 5分
32	1983 昭和58	田部文一郎 (商工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	安川・吉岡 (キャタ)	北岡・中野 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 33-27, 22分
33	1984 昭和59	田部文一郎 (商工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	末延・関口 (重工)	妹尾・青木 (銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関東 47-34, 1分
34	1985 昭和60	田部文一郎 (商工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	小西・富取 (銀行)	原田・佐久間 (商事・重工)	島野・今井 (海上・重工)		関東 48-34
35	1986 昭和61	田部文一郎 (商工会長)	沢 英樹 (化成)	関口・高田 (重工)	御供・青木 (重工・銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関西 46-38
36	1987 昭和62	鈴木永二 (化成会長)	沢 英樹 (化成)	原田・川崎 (商事・石油)	高橋・鈴木 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 46-37
37	1988 昭和63	鈴木永二 (化成会長)	昭和天皇御病気の為中止					
38	1989 平成元	鈴木永二 (化成会長)	岩原慎二 (化成)	川崎・寛 (石油・自工)	貴志・庄野 (化成)	芥川・善積 (化成)		関東 45-39
39	1990 平成2	鈴木永二 (化成会長)	辻本 豊 (レイヨン)	原田・上田 (商事)	豊福・金子 (化成・郵船)	芥川・善積 (化成)		関東 50-31, 3分
40	1991 平成3	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	古賀・樺原 (化成)	瀬口・須藤 (化成・重工)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 28-21, 35分
41	1992 平成4	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	坂尾・伊丹 (キリン)	瀬口・福井 (化成)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 49-29, 6分
42	1993 平成5	飯田庸太郎 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	山田・宮本 (アルミ)	青木・荒木 (銀行)	善積・溝口 (化成・海上)		関東 52-32
43	1994 平成6	飯田庸太郎 (重工会長)	田村太郎 (商事)	川崎・上田 (石油・商事)	山口・高見 (レイヨン)	前田・早川 (化学)		関東 38-28, 18分
44	1995 平成7	飯田庸太郎 (重工相談役)	杉本長太郎 (化学)	雨天中止	雨天中止	金子・坂田 (明生)		雨天中止
45	1996 平成8	飯田庸太郎 (重工相談役)	渡辺 啓 (化学)	伊丹・好士 (キリン)	山守・田中 (化学)	金子・坂田 (明生)		関東 47-37
46	1997 平成9	藤村正哉 (マテリアル会長)	長谷川 寛 (電機)	雨天中止	雨天中止 120才↓	渡辺・工藤 (明生)		雨天中止
47	1998 平成10	藤村正哉 (マテリアル会長)	古村賢紀 (電機)	川崎・樺原 (石油・化学)	小杉・大日方 (銀行)	渡辺・杉山 (明生)		関東 52-32
48	1999 平成11	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	花岡・沼田 (電機)	浦中・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 49-34, 1分
49	2000 平成12	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	平岡・土肥 (重工・電機)	初澤・池田 (電機)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 42-41, 1分
50	2001 平成13	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	沼田・榊井 (電機)	岡崎・石山 (石油)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 47-27
51	2002 平成14	藤村正哉 (マテリアル相談役)	塚原 識 (銀行)	宮田・須藤 (重工)	瀧口・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 41-31
52	2003 平成15	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	宮田・竹部 (重工・キリン)	神田・小杉 (銀行)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 26-20
53	2004 平成16	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	雨天中止	雨天中止	今城・吉井 (海上)		雨天中止
54	2005 平成17	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	池田・片寄 (電機)	毎野・西 (商事)	安井・星 (生命)		関東 28-23
55	2006 平成18	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (商事)	佐伯・津田 (SCM・重工)	出口・近藤 (重工)	市川・原 (海上)	江頭・塩谷 (生命)	関東 16-9
56	2007 平成19	岸 暁 (銀行相談役)	前田信二 (銀行)	瀧口・高見 (化学・レイヨン)	藤井・吉田 (電機)	深田・清水 (銀行)	武井・若月 (銀行)	関西 19-6
57	2008 平成20	岸 暁 (銀行相談役)	中原健一郎 (商事)	若菜・茅本 (重工・化学)	鈴木・君塚 (海上)	安井・伊藤 (生命)	黒崎・鳥山 (商事)	関西 14-11
58	2009 平成21	井手明彦 (マテリアル社長)	藤田瑞飛 (生命)	出口・淀川 (重工)	瀧口・矢野 (化学)	古賀・加藤 (生命)	細江・佐藤 (生命・海上)	関東 13-12

回数	年度	委員長	H. I. 盃	女子シングルス	140才トーナメント	120才トーナメント	女子ダブルス	男子ダブルス	東西対抗試合
59	2010 平成22	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)		近藤・淀川 (重工)	小野・赤沼 (硝子)	伊藤・五十嵐 (生命)	渡辺・瀬野 (電機)	関西 13-12
60	2011 平成23	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)		高橋・金子 (硝子)	後藤・古屋 (電機)	古賀・松重 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関東 16-9
61	2012 平成24	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)		東・淀川 (重工)	伊藤・矢野 (化学)	五十嵐・鍋谷 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関西 13-12
62	2013 平成25	井手明彦 (マテリアル会長)	福田健司 (電機)		140才↓ 東・田中 (重工)	赤沼・本間 (硝子)	五十嵐・鍋谷 (生命)	廣田・横山 (電機)	関西 11-8
63	2014 平成26	井手明彦 (マテリアル会長)	田川翔太 (海上)	鍋谷昌栄 (生命)	田中・永田 (重工)	近藤・矢野 (化学)	奥間・関 (銀行)	神谷・星野 (麒麟)	関西 11-8
64	2015 平成27	井手明彦 (マテリアル相談役)	古田陸人 (マテリアル)	木川里奈 (生命)	織田・藤井 (商事・電機)	堀田・多屋 (海上)	松田・泉水 (生命)	駒田・廣田 (電機)	関東 12-11

注. 第30回大会以降の開催地はすべて東京

## 2015年度 第64回 優勝者

< >内はプレゼンター



H.I. 盃 古田陸人選手 (マテリアル)  
< 畔柳特別顧問 (銀行) >



女子シングルス 木川里奈選手 (生命)  
< 根岸社長 (生命) >



140才トーナメント 織田・藤井ペア(商事・電機)  
< 大宮会長 (重工) >



120才トーナメント 堀田・多屋ペア (海上)  
< 佐久間常務 (商事) >



男子ダブルス 駒田・廣田ペア (電機)  
< 山西会長 (電機) >



女子ダブルス 松田・泉水ペア (生命)  
< 松尾特別顧問 (生命) >



東西対抗試合 東軍  
< 本田常務 (ニコン) >



大会役員及び各種目優勝者等との記念撮影



## H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項

幹事会社

三菱化学㈱、三菱樹脂㈱、三菱ガス化学㈱

### 1. 大会日程

日 程	種 目 等	会 場	集合時間等
第 1 日 10月14日(金)	140才・120才ダブルス ブロック別リーグ戦	海上 多摩コート 郵船 飛田給コート	試合開始30分前
第 2 日 10月15日(土)	H. I. 盃・女子シングルス 1回戦 男子ダブルス ブロック別リーグ戦 女子ダブルス ブロック別リーグ戦 140才・120才ダブルス 決勝トーナメント1～2回戦	銀行 武蔵野コート	試合開始30分前
	男子ダブルス ブロック別リーグ戦	海上 多摩コート	
第 3 日 10月16日(日)	開会式	銀行 武蔵野コート	8 : 30からの開会式に必ずご参加ください *試合受付は開始30分前をお願いします
	H. I. 盃・女子シングルス 準決勝・決勝 男子ダブルス 決勝トーナメント1回戦・準決勝・決勝 女子ダブルス 決勝トーナメント準決勝・決勝 140才・120才ダブルス 準決勝・決勝		
	100周年記念東西対抗試合		
	懇親会	吉祥寺東急REIホール	17 : 30開始

コート割、開始時間、会場案内はP18～P21をご参照ください。

### 2. 役員

委員長： 三菱庭球同好会会長 井手明彦 (三菱マテリアル)

副委員長： 小山田 隆 (三菱東京UFJ銀行) 田中 敦 (三菱化学)

倉井敏磨 (三菱ガス化学) 和田卓也 (三菱樹脂)

同好会相談役： 岸 暁 (三菱東京UFJ銀行) 畔柳信雄 (三菱東京UFJ銀行)

審判長： 藤井道雄 (三菱電機)

副審判長： 武田 彰 (三菱商事)

H. I. 盃委員： 岡田哲朗 (東京海上日動) 松岡信幸 (三菱電機)

荒谷雅夫 (明治安田生命) 鈴木総一郎 (三菱東京UFJ銀行)

大地重雄 (三菱化学) 木村博光 (三菱ふそうトラック・バス)

橋本達哉 (三菱重工業) 島村健司 (三菱マテリアル)

金子龍司 (三菱商事)

H. I. 盃地区委員： [関東] 渡辺 啓 (三菱化学) [中京] 中山芳郎 (三菱電機)

[関西] 田中 颯一郎 (三菱電機) [九州] 横濱克彦 (三菱重工業)

### 3. 参 加 会 社

三菱重工業(株)	三菱倉庫(株)	(株)三菱東京UFJ銀行	三菱UFJ信託銀行(株)
三菱マテリアル(株)	三菱地所(株)	三菱電機(株)	三菱商事(株)
JXホールディングス(株)	三菱化学(株)	旭硝子(株)	三菱レイヨン(株)
三菱製鋼(株)	三菱製紙(株)	三菱化工機(株)	三菱ガス化学(株)
三菱樹脂(株)	日本郵船(株)	東京海上日動火災保険(株)	明治安田生命保険(相)
麒麟ホールディングス(株)	(株)ニコン	三菱自動車工業(株)	三菱ふそうトラック・バス(株)
三菱アルミニウム(株)	(株)ピーエス三菱	(株)三菱総合研究所	三菱UFJ証券ホールディングス(株)
郵船ロジスティクス(株)	三菱伸銅(株)	三菱電線工業(株)	

### 4. 試 合 方 法

〔使用ボール：ダンロップフォート〕

種 目	資 格 等	方 法
(1) H. I. 盃 (男子シングルストーナメント)	前年優勝者、地区代表 (関東3、関西・中京各2、九州1)	3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)
(2) 女子シングルス トーナメント	前年優勝者、地区代表 (関東4、関西2、中京・九州各1)	同 上
(3) 男子ダブルス	地区代表24組によるブロック別リーグ予選、決勝トーナメント (関東9、関西9、中京4、九州2)	予選・1回戦・準決勝8ゲームマッチ (8ゲームオール、7ポイントタイブレーク) 決勝3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク、 1セットオール、10ポイントスーパータイブレーク)
(4) 女子ダブルス	地区代表8組によるブロック別リーグ予選、決勝トーナメント (関東5、関西2、中京1)	予選8ゲームマッチ (8ゲームオール、7ポイントタイブレーク) 準決勝・決勝3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク、 1セットオール、10ポイントスーパータイブレーク)
(5) 140才ダブルス	本年、男子満68才・女子満58才以上 で合計140才(※女子1人につき10才 減ずる)以上のペアによるブロック 別リーグ予選、決勝トーナメント	1セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク) ※ブロック別リーグ予選に限り、 セミアドバンテージ方式
(6) 120才ダブルス	本年、男子満58才・女子満48才以上 で合計120才(※女子1人につき10才 減ずる)以上のペアによるブロック 別リーグ予選、決勝トーナメント	同 上
(7) 100周年記念東西対抗 試合	東軍(関東以東)・西軍(中京以西) 男子各20組、女子各3組、H. I. 盃選 手権出場選手および女子シングルス 出場選手による混合ダブルス2組、計 25組による対抗戦	3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク、 1セットオール、10ポイントスーパータイブレーク)

〔懇親試合〕 1セットマッチ(6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)

男子ダブルス予選敗者、140才、120才ダブルスの10月15日までの敗者、その他ご希望の方は、懇親試合に参加できますので、10月15日に各コートの大会運営本部まで申し出てください。但し、コート事情によりご希望に沿えない場合もありますので、ご了承ください。

## 5. 雨天時の対応

- (1) 原則、各社単位でご確認ください。
- (2) 各日とも、開始時間の1時間前から各コートに大会幹事がおりますので各社連絡員から問合せください。選手から各社連絡員に連絡がつかない場合は、直接コートに問合せいただいても結構です。
- (3) 10月16日(日)が雨天で試合中止となった場合は、懇親会のみ17:30から開催しますので、吉祥寺東急REIホテル(TEL0422-47-0109)にご集合ください。

## 大会次第 10月16日(日)

1. 開会式(三菱東京UFJ銀行武蔵野コート) (8:30)
  - (1) 集合
  - (2) 挨拶 井手大会委員長
  - (3) 優勝盃・優勝旗返還 井手大会委員長
  - (4) 諸注意 藤井審判長
  
2. 試合開始(コート時間割をご参照) (9:00)
  
3. 試合終了 (16:00)
  
4. 閉会式および懇親会(吉祥寺東急REIホテル 3階むさしの) (17:30)
  - (1) 開会挨拶 井手大会委員長
  - (2) 乾杯 倉井大会副委員長
  - (3) 優勝盃・優勝旗・賞品授与および優勝者挨拶
    - ① H. I. 盃優勝者
    - ② 女子シングルス優勝者
    - ③ 男子ダブルス優勝者
    - ④ 女子ダブルス優勝者
    - ⑤ 140オダブルス優勝者
    - ⑥ 120オダブルス優勝者
    - ⑦ 東西対抗試合勝者
  - (4) 最高年令出場者挨拶
  - (5) 閉会の辞 小山田大会副委員長
  - (6) 万才三唱 武田副審判長
  
5. 閉会(解散) (19:00)
  
6. 記念撮影  
懇親会終了後、H. I. 盃、女子シングルスの出場者、男子ダブルス、女子ダブルス、140オダブルス、120オダブルスの優勝・準優勝者、東西対抗試合主将および大会役員の方々の記念撮影を行ないます。

## 諸 注 意 事 項

### 1. コートへのアクセス、宿舎等

- (1) 各コートへの交通手段と連絡先は、P20, 21をご参照ください。
- (2) 第1日・2日は専用バスを運行いたしませんので、各自お越してください。
- (3) 第3日（銀行コート）は専用バスを運行しますので、ご利用ください。
- (4) マイカーでの来場は厳禁です（海上コートを除く）。
- (5) 会場への交通・宿舎などについては、各自にてご手配ください。

### 2. 更 衣 室

各コートとも、更衣室のロッカーはご利用できませんのでお荷物は各自で管理してください。

### 3. 試 合 進 行

- (1) 試合進行はコート時間割に従って行ないますが、変更する場合がありますので、予め試合進行掲示板にてご確認ください。近隣対策上、試合前の選手呼び出し（場内アナウンス）はいたしませんのでご注意ください。なお、個人のご都合による時間割の変更は受け付けいたしません。
- (2) 練習時間は、試合進行上、H. I . 盃、女子シングルスは5分以内、その他は3分以内といたしますので厳守ください。

### 4. 審 判

- (1) H. I . 盃、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、140才ダブルス、120才ダブルスの決勝はコールアンパイアがつきますが、その他の試合はセルフジャッジですのでご協力ください。
- (2) 試合結果は、勝者がスコアカードに記入の上ボールと一緒に大会本部まで届けてください。

### 5. 昼 食

- (1) 全日とも昼食の準備はありませんので、各自にてご手配ください。
- (2) ジュース等の空きカン・ペットボトル・ゴミは所定の場所にお捨ててください。

### 6. D E F

- (1) 所定の時間までに試合前受付がない場合は、原則棄権となります。
- (2) やむを得ずD E Fの場合は速やかに自社の連絡員経由でご連絡ください。

### 7. 参 加 費

140才ダブルス、120才ダブルス参加者は関東地区5,000円、関東以外3,000円、その他関東地区の参加者は4,000円、関東以外は1,000円を各社とりまとめてください。後日徴収いたします。